



俵屋宗達筆「伊勢物語図色紙」第五十二段「かざり粽」

主な展示作品／「素庵書状(宗舟・平次宛)」「藤原惺窩書状(素庵宛)」素庵書・宗達下絵「和歌色紙(行やらで)」素庵書「詩歌卷」(宗達意匠料紙) 宗達筆「伊勢物語図色紙(第五十二段・かざり粽)」宗達筆「楊梅図屏風」古活字版「史記」(素庵刊) 嵯峨本『伊勢物語』(最初の絵入り本) 嵯峨本『源氏物語』 嵯峨本『観世流謡本』古活字版・素庵校訂『本朝文粹』(野野村知求=宗達刊)

平成26年
6月15日(日)～7月19日(土)

休館日:日曜日 ※6月15日(日)は特別開館

開館時間:午前10時～午後4時

入館料:無料

場所:関西大学博物館特別展示室

(関西大学千里山キャンパス、簡文館内)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928

E-Mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp

<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

江戸初期の能書家と絵師、
知られざる二人の偉業

角倉素庵と 俵屋宗達

関西大学創立百二十周年記念事業

関西大学博物館開設二十周年記念

夏季企画展

角倉素庵と俵屋宗達

|| 江戸初期の能書家と絵師、知られざる二人の偉業 ||

角倉素庵(すみのくら・そあん、1571~1632)は江戸時代初期、父了以とともに安南国朱印貿易、保津川疎通、高瀬川運河開鑿事業などを行った京都の豪商であり、一方、藤原惺窩門の儒学者、能書家でもある。また古活字版・整版印刷による我が国の古典書、「嵯峨本」十数書目の刊行者・書体デザイナー・装訂者である。素庵の生涯の友である京の町絵師・俵屋宗達(生没年未詳・1630年活躍)は、近世やまと絵、水墨画に新境地を拓いた人として知られるが、能書家・素庵に《書》のための装飾料紙(金銀泥下絵・木版雲母刷下絵)や、「嵯峨本」のための装飾料紙を提供したことは、いまだ知られていない。

今回の展観では、近年発見された素庵と宗達の親交を物語る新史料「素庵書状(宗舟・平次宛)」、宗達が寛永七年(1630)に後水尾上皇の依頼を受けて描いた紙本金地著色「楊梅図(やまももず)屏風」を中心に、素庵の美しい書跡(和歌、漢詩、謡曲、物語など)、美しい装訂の「嵯峨本」、宗達最晩年の代表作「伊勢物語図色紙」(益田家本)などを展示する。初公開の作品が多い。素庵と宗達の知られざる偉業を、ぜひ知っていただきたい。本展観は、素庵と宗達の従来の定説を検証し、二人の真実に迫ろうとするものである。

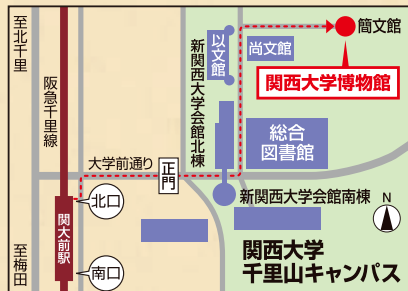
関連催事

【講演会】

日 時:7月12日(土)午後2時40分~4時10分
演 題:「素庵と宗達」
場 所:簡文館・関西大学博物館・実習室
講 演:元大和文華館学芸員・関西大学非常勤講師
文学博士 林 進

【列品解説】

日 時:6月15日(日)午後1時30分~2時30分
:7月11日(金)午後2時50分~3時50分
場 所:特別展示室
解 説:元大和文華館学芸員・関西大学非常勤講師
文学博士 林 進



関西大学博物館 特別展示室

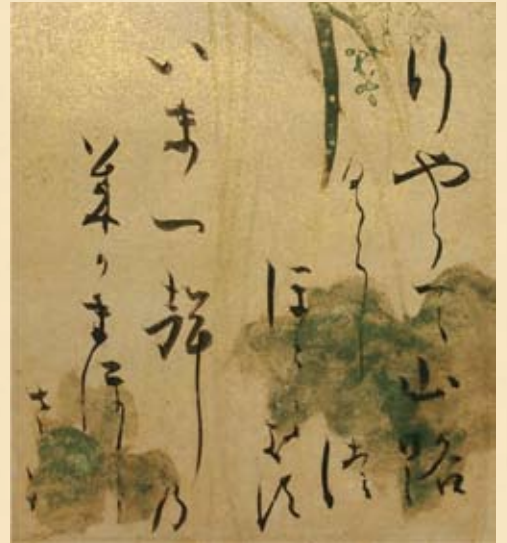
(関西大学千里山キャンパス、簡文館内)

〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35

阪急千里線「関大前」駅下車徒歩10分
※お車でのご来場はご遠慮ください。



素庵書・宗達下絵 和歌短冊



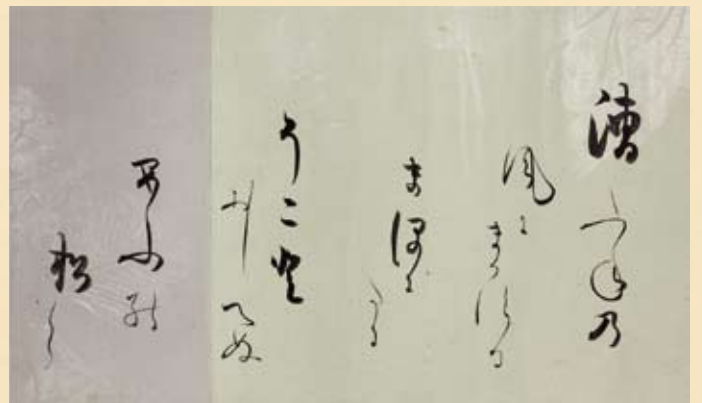
素庵書・宗達下絵 和歌色紙



角倉素庵書状(宗舟・平次宛)



俵屋宗達筆 楊梅図屏風



素庵書・宗達意匠料紙 和歌巻